

HITOCOCO 通常モデル

お取り扱い説明書





■ ご使用の前に ■

- HITOCOCO(ヒトコ)はあくまでも、人探しやモノ探しの「補助」や「手助け」を目的として開発された装置です。
- HITOCOCO(ヒトコ)があれば、必ず探索可能というわけではありません。
- **探索する対象の人やモノの管理・安全責任はお客様ご自身にあります。ご了承頂けない場合は、使用しないでください。**
- 電池の充電は定期的に実施してください。
- 必要な時に電池切れにならないよう、日常の管理をお願いします。
ご使用の際は、必ず動作確認を行ってください。

■電波に関する注意

- ・本製品は、日本電波法の認証を受けた「特定小電力の無線設備」の無線モジュールを内蔵しています
- ・日本国内でのみ使用可能です
- ・本体を開けて分解/改造したり、証明ラベルを剥がすと法律により罰せられることがあります

■ 安全のためのご注意(必ずお守りください) ■

■警告

- ・本体が高温になったり、異臭や煙がでたときは電源スイッチを切る
- ・分解や改造はしない
- ・内部に水や異物を入れない
- ・濡れた手で充電の操作をしない
- ・子機は口の中にいれない
- ・USBケーブルは充電以外の用途には使わない
- ・航空機内や病院など電波の使用を禁止されている所では電源を切ってください。
電子機器や心臓ペースメーカー、医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります

■注意

- ・長期間使用しないときは電源スイッチを切る
- ・異常に高温になる場所には置かない
(特に炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は高温になり、本体の変形や故障の原因になります)
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くには置かない(変形や故障の原因になります)

■お知らせ

- ・2台以上の親機から同時に探索すると、“ビジー状態です”が表示されますが
故障ではありません。時間をおいて再度探索してください。
- ・親機が探されているときは、動作LEDが早点滅します。
この状態では、探されることが優先されますので親機のキー操作は無効になります
(探すことを優先する場合は、電源をOFF→ONして探索してください)
- ・内蔵の電池はLiポリマー電池を使用しています。繰り返しの充電回数は最大で約500回です

HITOCOCO「ヒトココ」のしくみ

親機が子機の電波を捉え、子機の居場所を「距離・方向・電波強度」で知らせます。

親機液晶に子機までの
距離・方向の目安と「電波強度」を表示。



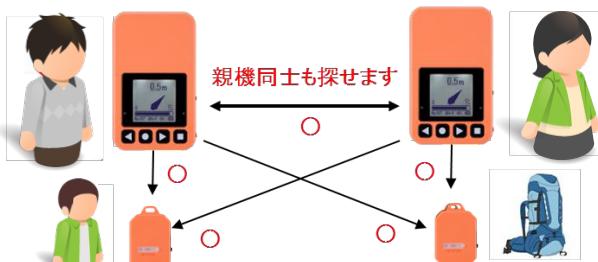
山田さんのID発見！
あっちの方向で
410m先くらいだね

※端末ごとに固有のID番号有り。
特定の「あの人」だけを検索可能。

接続形態・グルーピング

子機や別の親機のIDを、自由に登録・消去・上書きすることができます。
→ さまざまな目的やシーンにあわせて、最適な組合せ・グルーピングが可能です。
グループ・組織の仲間同士でIDを共有することで、お互いの安全を確保しましょう。

接続形態



グルーピング

【例】親機:2台、子機:20台
※ 親機1台につき、最大20件のIDを登録可能
→ グループ登山、ツアーなどで便利！



多様なシーンでの活用

「ヒトココ」は、さまざまな日常生活でも活躍します。お子様やペットの見守りにも。

スキーで



海にも安心を※



大切なペットも



駐車場で車探しに



※「ヒトココ 子機」は完全生活防水ですが、プールなどで長時間使用する場合は、別売りの防水ケースが必要です。

親機

各部名称



◀選択/●決定/▶選択/■停止

子機



重要：充電に関するご注意



- 長期間、使用せずに放置・保管する場合は、必ず電源をOFFにしてください。
電池切れの状態でONのまま放置すると、充電池が壊れる恐れがあります。
- 親機は、電池残量ゲージが2本になつたら充電しましょう。
※ 残量ゲージが1本の場合、いつ電池切れになつてもおかしくありません。
- 子機は、本体に液晶がないため、動作LEDの色で電池残量を判断します。
※ 緑=電池残ゲージ3本、オレンジ=2本、赤=1本
したがつて、子機は動作LEDがオレンジになった時点で充電しましょう。

①本体(親機・子機)を充電する

付属USBケーブルを「USB端子」に差込み、約2時間充電してください。
充電が完了すると「充電LED」が消えます。

②電源をONにする(親機・子機)

※ 誤動作防止のため、電源はスライドしにくい構造を採用しています。
ペンなど、先端の尖ったものでスイッチをスライドください。

① 親機の「◀▶選択キー」を押し、以下のいずれかの操作してください。

A) 登録済みの子機(もしくは親機)を探す場合

→ 「サーチNo. 1～20」を選択し、「●決定キー」を押す
= 特定の1台のみを探索します。



B) 未登録の子機(もしくは親機)をIDで探す場合

→ 「サーチNo. ID」を選択し、「●決定キー」を押す。



→ 探したい親機や子機のIDを入力する。

「◀▶選択キー」
= 数字(0～9)アルファベット(A～F)の選択

「●決定キー」=右の桁へ移動

「■停止キー」=左の桁へ移動



→ 最後の桁まで入力後、「●決定キー」を押す。
= 特定の1台のみを探索します。

C) 登録済みの子機や親機すべてを探す場合

→ 「サーチNo.ALL」を選択し、「●決定キー」を押す。
= 既に登録済みの子機・親機を全て探索します。



→ 一覧で表示されたIDの中から「◀▶選択キー」で
探したいIDを選び、「●決定キー」を押す。
= 選択した1台を探索します。

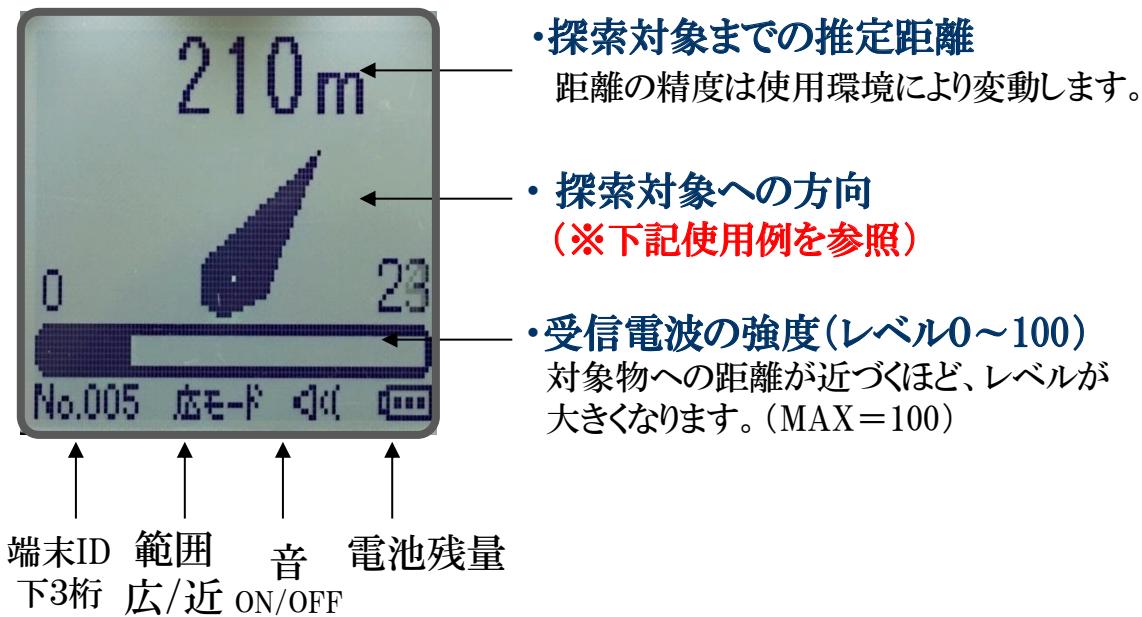


- ② 探索した子機(もしくは親機)が圏内にある場合は、「**発見しました**」と液晶に表示されます。

※ 発見できない場合は、場所を変えながら探索を続けてください。

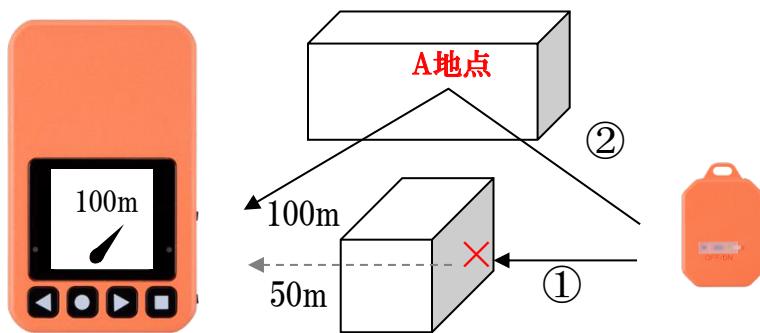


- ③ 液晶表示に従い、矢印が示す方向に向かって進んでください。
探索対象に近づく程、「ピー、ピー、ピー」という探知音のピッチが
早くなります。
(探知音がうるさい場合は、「●決定キー」で音のON/OFF可能)



※使用例

- ①の電波経路は障害物でブロックされるため、
表示上は、②の経路と距離(100m)を示します。
表示に従い移動すれば、最終的に子機にたどり着くことができます。
(A地点に到達した時点で、障害物が無くなり、正しい方向を示します)



もっと上手に使うためのヒント

① 電波飛距離を最大限に發揮するには

- 子機の取り付け位置は、なるべく「高い位置」で！
(使用電波の特性上、地面から離れた方がよく電波が飛びます。)
- 子機は、なるべく体に密着させないこと！
(人間の体は水分の塊。水分は飛距離の大敵です。)



○ 腰にぶら下げる

使い方のヒント

② 親機のアンテナ感度を最大限に發揮するには

- 親機を持つときは、下半分(操作キー側)を持つ！
- 親機上半分を手で覆わない！
(上部にアンテナが配置されているため、この部分を手で覆うとアンテナの感度が落ちます)



○ 点線よりも下の位置で持つ

もっと上手に使うためのヒント

③ 電波の「ゆらぎ」に惑わされず、子機を見つけるには

子機を発見。。。！その時、
立ち止まって、じっと液晶画面と睨めっこするのではなく、
親機が表示する方向へ
足を止めず、とにかく、ドンドン進みましょう！

多少、距離と方向が不安定な場合でも
気にせず、進み続ければ、必ず子機が見つかります。

また、もしも間違った方向に進んでいると、電波強度の
レベル数値が、スタート地点よりも低くなります。

「ドンドン進みながら、時々確認。」がポイントです！

また、対象までの距離が10m前後まで近づくと、自動的に
「広域モード」→「近距離モード」へ切り替わります。



登録機の追加

子機(もしくは親機)を追加で登録するには

→ 「サーチNo. ID」を選択し、「● 決定キー」を押す。



→ 登録したい子機(もしくは親機)の端末IDを入力する。

「**↔ 選択キー**」

=数字(0~9)アルファベット(A~F)の選択

「●決定キー」=右の桁へ移動

「■ 停止キー」=左の桁へ移動

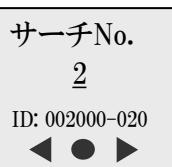
→ 最後の桁まで入力後、「●決定キー」を2秒以上、長押しする



→ 「登録サーチNo.」の画面で、登録したい番号を
「↔ 選択キー」で選び、「●決定キー」を押す。



→ 登録完了すると(例:「サーチNo2」に登録した場合)
「2」の下に「-」と登録したIDが表示されます。



※登録済みのIDを消去するには、「000000-000」
というIDを上書き登録することで可能です。

検索範囲(半径)のイメージ

住宅密集地



100m



500m

広場

1km

	親機 	子機 
電波飛距離	見通し1km（使用環境による）	
周波数	925Mhz	
出力	20mW	
電池寿命	6ヶ月（待機）	3ヶ月（待機）
充電時間（※）	約2時間(3時間以内)	約2時間(3時間以内)
使用温度範囲	-10°C～40°C	-20°C～40°C
寸法	107x64x13mm	60x40x12mm(タブ部含む)
重さ	70g	20g

- ※ 指定電圧：充電に使用するUSBの電源電圧はDC5V (USB規格に準拠)
- 防水性能 = 親機:IPX6相当、子機:IPX7相当